

# 「NPO法人歩かね太宰府」 「アイ・あいの会」活動報告

## ある日の相談より

**太宰府の**ガイド付き街歩き「NPO法人歩かね太宰府」と、視覚障がい者の安心・安全な外出を支援する「視覚障がい者ガイドボランティア アイ・あいの会」。2つのボランティア団体が協力して、太宰府観光ガイドをしました。

経緯は右の記事をご覧ください

1月9日(木)

風のない晴天のこの日、横浜から太宰府市に来られたご夫婦は、視覚障がいをお持ちです。太宰府の歴史を知りたいとのご希望により、さまざまな歴史にふれるコースをご案内しました。



水城東門と水城館 → 歴史の散歩道 → 筑前国分寺跡  
→ 万葉の小径 → 坂本道 → 大宰府政庁跡 → 大宰府展示館

ご夫婦は、歩かね太宰府の島松さんと一緒に、博多駅から路線バスに乗り「水城」バス停で降車。アイ・あいの会の女性ガイド猿渡さんと合流しました。穏やかな道を、ご主人は白杖を突きガイドの右ひじを持ち、奥様はガイドの肩に触れながら歩きますが、ご夫婦は登山を楽しまれるほどの健脚です。また、とても歴史好きで、史跡の解説に頷きながら、次々と質問をされます。島松さんはもちろんですが、猿渡さんも太宰府の歴史にかなり詳しく、話も弾みます。万葉の小径では「空気が変わったみたい。気持ちがいい。」と、落ち葉を踏みしめながら進みました。

トイレ休憩の際に奥様は、「女性ガイドさんのおかげで、トイレでの不安がなく助かりました。」と、猿渡さんの介助にとても感謝されていました。

万葉歌碑の文字や大きな礎石を手で触れ、歴史を感じて歩き、大宰府政庁跡に着きました。コースの締めくくり全員で、清々しい空気を深呼吸しました。

奥様は太宰府ライナーバス「旅人」に乗るまで、「太宰府の歴史と街歩きを楽しみました。ありがとう。」と、猿渡さんの手を握られて名残惜しそうでした。島松さんは、帰途に就くご夫婦に同行し、福岡空港へ。今回の視覚障がい者の観光案内は、両団体にとって初めての体験でしたが、無事に観光ガイドを終えました。

**ある日**、今まで受けたことのない相談が舞い込みました。

うめさろんの登録団体である「歩かね太宰府」の代表の島松さんから、『視覚障がいをお持ちの県外のご夫婦が、太宰府に観光で訪れたいとのことでガイドを引き受けたが、このような場合、視覚障がいの方へのサポートができる人を付けるか、あるいは同行する際の留意点などを教えてもらうことは出来るだろうか・・・』という内容でした。

**うめさろん** は

ボランティアや市民活動に取り組む皆さんのお手伝いをするところです

- 新たな人や情報に出会えるところ
- 気軽に立ち寄って相談できる場所
- 問題解決に向けて一緒に考えるところ

太宰府は観光地ですから、ガイドをする団体はいくつかあります。ですが、視覚障がいをお持ちの方への観光ガイドは、あまり耳にしません。

スタッフは、太宰府市社協の担当者へ『社協さんの登録団体である「アイ・あいの会」さんに観光ガイドのサポートをお願いすることが出来ますか?』と連絡を取りました。

「アイ・あいの会」さんは、通常は太宰府市内の視覚障がい者の方の外出時のサポートをしている団体ですが、会員さんのスケジュールが合えば観光ガイドに同行も可能とのこと。

このご夫婦の来訪の前に、「歩かね太宰府」と「アイ・あいの会」のメンバーが、うめさろんで事前打ち合わせをし、実際の活動につながりました。

当日の様子は左の記事をご覧ください

今回は、うめさろんと太宰府市社協、また二つの団体との連携や協力により、上手くつながり合い、互いの活動を無事に終えることができた事例でした。

それぞれの組織の特性を活かし役割を分担しながら、依頼者のニーズに対応した今回の案件は、規模は小さいながらも協働の一つのかたちといえます。協働のチャンスは意外なところから生れることもあるのですね。

さて、うめさろんでは、**2月20日(木)に主催講座として『協働向上力セミナー』**を開催します。昨年も開催しましたが、今回は協働の対象・パートナーの範囲をさらに広げ、幅広い組織の方と出会い、ともに協働について学べる場になるようにと企画しております。たくさんの方の参加をお待ちしています。

